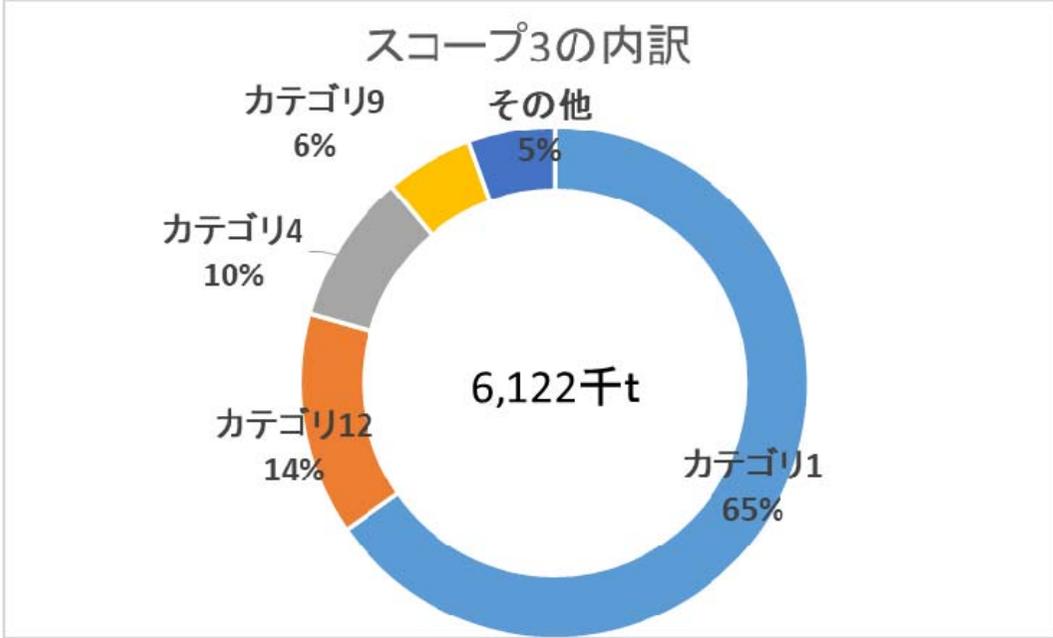


凸版印刷株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業● 事業概要：「情報コミュニケーション事業」、「生活・産業事業」、「エレクトロニクス事業」● 事業規模[任意]：（2018年3月末現在）<ul style="list-style-type: none">連結売上高 1,452,751（百万円）連結従業員数 51,210（名）グループ社数 183（社）グローバル拠点 145（拠点）
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標> 目標 2030年に2017年比で30%削減</p> <p><Scope 3の削減目標> 目標 2030年に2017年比で20%削減</p>

凸版印刷株式会社

項目	内容													
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : I補キ[®]-起源 236 非I補キ[®]-起源200 [千tCO₂] 												
	 <p>スコープ3の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリー</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリー1</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー12</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー4</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー9</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>6,122千t</p>	カテゴリー	割合	カテゴリー1	65%	カテゴリー12	14%	カテゴリー4	10%	カテゴリー9	6%	その他	5%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 937 [千tCO₂]
	カテゴリー	割合												
カテゴリー1	65%													
カテゴリー12	14%													
カテゴリー4	10%													
カテゴリー9	6%													
その他	5%													
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 左図参照 													

凸版印刷株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>[物理リスク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当社の事業活動に与えるインパクトとしては、工場の操業、物流、原材料調達に重大な変化が生じる可能性がある。 <p>[移行リスク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動対策の遅れが投資引上げにつながることも懸念される。 ● 顧客要求により、今後GHGの削減要請が更に高まることが想定される。 ● 化石燃料起源のエネルギー価格高騰。 <p>[機会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題解決需要増加による低炭素製品の普及促進、イノベーションの創出にともなう機会の創出。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的に強まる「企業に求められる2℃目標」に対応し、連結対象全てのサプライチェーン排出量を対象とした中長期目標設定と国際イニシアチブが認めるSBT認定を取得する事で自社目標の妥当性を世の中に発信できる。 ● 顧客・投資家・格付機関に対する自社姿勢の提示。

凸版印刷株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● エコロジーセンターにて目標案を検討・設定し、取締役会決議を経て社内コンセンサスを得た上で、SBTイニシアチブへ提出。サプライチェーン全てを包括する野心的な中長期目標の必要性を共有できた。● 目標の実現可能性について、2030年時点の事業環境の変化及び世の中の電源構成変化を想定し、検討した。● 社会的要請に応じてアウトサイドインアプローチにより目標設定するという考え方を説明し、理解を得た。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope1+2目標達成のために、省エネ施策の更なる推進。バイオマス燃料、再生可能エネルギーの導入検討。● Scope3削減目標の達成のために、サプライヤーとの連携・協働の具体的アクション遂行及び低炭素製品・ビジネスの普及促進。